

2019年2月6日

日本基督教団総会議長 石橋秀雄様
日本基督教団 教区総会議長の皆様

大阪教区総会議長
小笠原 純

主の御名を讃美いたします。

寒さ厳しい折りですが、それぞれの場で神さまの宣教のわざに励んでおられることと存じます。

さて、大阪教区常置委員会は、第41総会期教団総会議案として、「沖縄キリスト教団と日本基督教団との合同50年に際し、合同、合同のとらえなおしと実質化とその取り組み、そしてその後について、教団及び各教区で振り返りと評価を行う件」という議案を、教団常議員会に提案いたしました。教区常置委員会の提案の議案は、教団常議員会を経て議案となるため、残念ながら教団総会議案とはなりませんでしたが。しかし議案の内容としては、とても大切なことだと考えています。大阪教区は提出した議案の意図に基づいた集会を行うことにいたしましたので、ご案内いたします。

石橋秀雄教団総会議長も、沖縄キリスト教団と日本基督教団との合同50年に際し声明を出されるとお聞きしています。お働きに感謝いたします。

皆様のうえに、神さまの恵みと平安とが豊かにありますようにとお祈りしています。

大阪教区主催

沖縄キリスト教団と日本基督教団との 合同50年を振り返る会

主の聖名を賛美いたします。

2019年は沖縄キリスト教団と日本基督教団との合同50年の年です。1969年2月25日、沖縄キリスト教団と日本基督教団との合同式典が東京銀座教会で挙行され、合同議定書が交換されました。その後、日本基督教団では、80年代に入ってから、「合同のとらえなおしと実質化」についての検討、また議論が行われてきました。

そうしたなかで、沖縄教区から提案された名称変更議案は、2002年に開催された第33回教団総会にて審議未了廃案との取り扱いとなり、その後、沖縄教区は、「教団としばらくの間距離を置く」との姿勢を取ることになりました。

沖縄教区では、現在、自分たちの歴史を振り返りながら、その歩みを検討しています。私たちも合同50年を機に、もう一度、合同前後、合同のとらえなおしと実質化、そしてその後の歴史を振り返る話し合いのときをもちたいと思います、

皆さま、ご多忙とは存じますがぜひご出席ください。 在 主

okinawa 大阪教区・総会議長 小笠原 純

日 時：2019年2月25日（月）午後3時～午後5時

場 所：日本基督教団 浪花教会

発題者1：^{おおさわせいいち}大澤星一さん（大阪教区常置委員、西大和教会牧師、元沖縄教区書記）

発題者2：^{おいたしん}老田 信さん（沖縄交流・連帯特別委員会委員、大阪聖和教会牧師）

※ 教師、信徒、どなたでも 是非ご出席ください。
多くの方々の出席をお待ちしております。

交通・アクセス 日本基督教団浪花教会

〒541-0043 大阪市中央区高麗橋 2-6-2 TEL / FAX 06-6231-4951

◆◆ 最寄駅から教会まで ◆◆

淀屋橋駅から

大阪外口御堂筋線 淀屋橋駅 11番出口から徒歩5分

京阪線 淀屋橋駅 18番出口から徒歩6分

北浜駅から

大阪外口堺筋線 北浜駅6番出口から徒歩6分

京阪線 北浜駅地下鉄堺筋線2番出口から徒歩8分

お車で・・・駐車場はありません。公共交通機関でおいください。付近にコインパークもあるということですが、それぞれにお探してください。

